

卒業生インタビュー



15期生 2003年卒業

古戎 千夏 Chinatsu Koebisu

1984年生まれ。倉敷市出身。出版社・デザイン事務所での経験を経て「listen design」として独立。相手に心を傾け、世の中の流れに耳をすませながら、最適なデザインを提案できるように努力しています。

・2017.4～2019.3
中国デザイン専門学校 非常勤講師
・2020.11～2023.3
日本工学院専門学校 非常勤講師
Instagram @koebick

—現在、どんな仕事をされていますか？

東京と岡山を行き来しながら、フリーランスのグラフィックデザイナーとして働いています。リモート化が進み、場所や時間に制限されない生き方を実現できるようになりました。最近はデザインだけでなくイラストを描かせていただく依頼も増え、企業やプロジェクト全体のブランディング、WEBメディアとしてのSNSの活用など、時代とともに仕事の幅が広がっています。

—総社南高校で過ごしたことがどんな風に役立っていますか？

人と比べて落ち込んだり、クラスになじめなかったり、思う通りにならない青春でした(笑)。大学受験でもうまく力が出せず、自分のことがなかなか好きになれませんでした。それでも今振り返ると、その頃の悔しい気持ちや失敗した経験が、「諦めてたまるか」という原動力として、大人になってからも自分を成長させてくれました。もしかしたら、その悔しい気持ちこそが宝物だったのかもしれない。
美術に向き合い続けた3年間は、楽しく辛く、濃い時間でした。恩師や友人とは今でも繋がっていて、お互いに表現活動を応援しあっています。かけがえのない出会いもたくさんありました。

—美術やデザインの道に進んで思うことを聞かせてください。

美術やデザインの道に進んでも、そうでなくても、美術を学ぶことは素晴らしいことだと思います。なぜなら、その美しさを感じられる心こそが、人が生きる価値そのものだと思うから。それは技術や知識を超えたところにありながら、技術や知識を学んだからこそ、価値がわかるものでもあります。

みなさんも、人と比べて、苦しくなることがあると思います。わたしもありました。でも、すべてがうまくいかなくなっても、絵やデザインがあったから、乗り越えてこれました。

画像生成AIなどの技術がどれほど進んでも、人は、人の魂が、心が宿っているかどうかを瞬時に見抜きます。

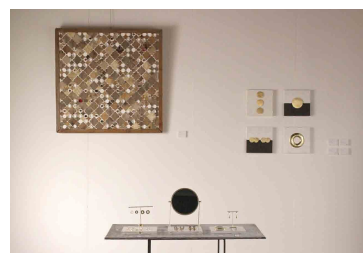
時代の過渡期にいるみなさんにとって、あえてアナログなやり方で、地道に自分の手で作り上げていく作品の一つ一つが、人が人であることの価値を教えてくれるのではないかなと思います。それは急速にデジタル化されていく今後の未来を生きていくための、大切なヒントになるのではないかなと思います。



2023年に山陽リビングメディアから発行されたミニ本「すごいよ！みんなの体」のイラスト・デザインを担当。県南の小学校などに配布されました



植物研究家の石田紀佳さんと制作したカレンダー「巡りの暦」。二十四節気や七十二候を表記し、少数ながら2ヶ月で完売



岡山市の「pieni deux」での展示の様子。金工作家の村上愛さんと一緒に、自然界の「フラクタル」をテーマに空間を作り上げました

合格実績

過去5年間
31期生～35期生

国公立大学等

岡山大学1・富山大学1・岐阜大学1・大阪教育大学2・山口大学1・香川大学1・鳴門教育大学1・佐賀大学2・金沢美術工芸大学3・京都市立芸術大学1・神戸市外国語大学1・岡山県立大学14・尾道市立大学9・広島市立大学6・沖縄県立芸術大学2・倉敷市立短期大学5

私立大学等

武蔵野美術大学4・多摩美術大学1・東京造形大学1・京都精華大学4・嵯峨美術大学3・京都芸術大学11・成安造形大学4・大阪芸術大学2・倉敷芸術科学大学15・川崎医療福祉大学6・ノートルダム清心女子大学2・就実大学1等

総社南高校

美術工芸系



将来、美術デザイン分野で活躍したいと考えている人に、美術系の大学への進学に必要な造形力と表現力を身に付けるために普通科内に設置された、県内公立高校唯一の系です。

県内には他にもデザイン科や芸術コースなどを持つ学校もありますが、大きく異なる点は普通科であるということです。

国公立の美術系大学や、難関私立大学は美術の実技だけではなく、学力も必要になります。

普通科である本校は、実技と学科の学習をバランスよく学ぶことができます。

年間行事

6月

・高校生美術コンクール



高校生美術コンクール

7月

・デッサン講習会(裸婦・人物)
・第1回美工系講演会
・夏季オープンスクール実技体験講座



人物デッサン講習会

裸婦デッサン講習会

オープンスクール

第1回美工系講演会

8月

・写生合宿(2泊3日)
・夏季デッサンコンクール
・全国総文祭参加
・校外鑑賞学習
・中学生体験講座



第1回大学説明会

小学生対象美術講座

中学生講座

全国総文祭参加

9月

・南翔祭作品展示
・秋季オープンスクール授業見学

南翔祭展示

第2回美工系講演会

10月

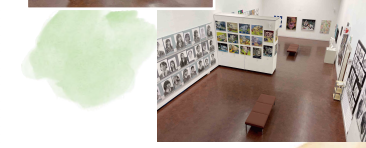
・実技補習(3年)
・校外写生学習

校外写生学習

校外写生学習

12月

・美術工芸系作品展(岡山県天神山文化プラザ)
・美術工芸系作品展(岡山県天神山文化プラザ)



1月

・冬季デッサンコンクール
・岡山県高等学校美術展

日本画実習

日本画実習

日本画実習

日本画実習

1 年次

特別入学者

- 特別入学者は、1年次から美工系に所属することになります。2年次以降の系の変更はできません。
- 授業(週2単位)と放課後の部活動の時間で基礎的な課題に取り組みます。
- 画材のセットを入学時に購入してもらいます。(38,000円程度)



一般入学者

- まだ系には所属しません。
- 正式に2年次からの系を決定するのは1年次の9月ごろです。
- 希望者は1年次の始めから系の行事に参加できます。



2 年次

- 正式に系に所属します。絵画・デザイン・彫塑の3つの分野を体験した後、7月に各専攻に分かれます。
- 授業(週4単位)と部活動の時間で実技に取り組みます。
- 2年次の9月ごろ、進学の希望に合わせて3年次の授業を選択します。

絵画



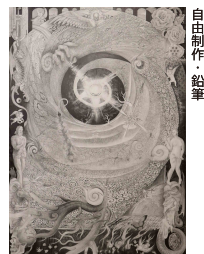
自画像油彩



静物木炭デッサン



自由制作・油彩



自由制作・鉛筆

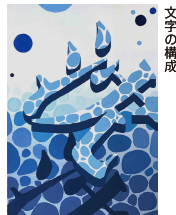
デザイン



ポスター課題



ポスター課題

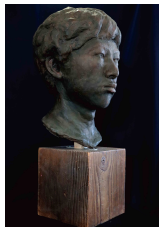


文字の構成



静物鉛筆デッサン

彫塑



頭部立体作品(石膏取り)



手のクロッキー



手の粘土作品



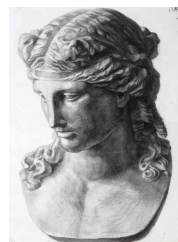
制作風景(石膏像模刻)

3 年次

- それぞれの進路希望に応じて、美術の授業数が週3単位～16単位と差があります。
- 個々の進路希望や力に合わせて個別の指導を行います。
- 普通教科の授業内容は、人文系・国際系など、他の文系と同じです。

3・4教科選択 美術 週5～16単位 実技重視型

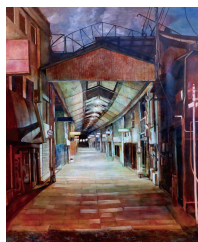
絵画



石膏木炭デッサン



静物水彩



風景油彩



自画像油彩

デザイン



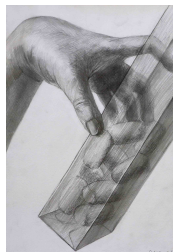
ポスター課題



色面構成



卓上鉛筆デッサン



手の鉛筆デッサン

彫塑



頭像粘土



自由立体課題(粘土)



手の粘土作品



石膏木炭デッサン

5教科選択 美術 週3単位 学科重視型

- 志望大学の入試科目で5教科以上の科目が必要な人が選択します。
- 美術系以外の進路を考えている人もいます。
- 基本的な教科の学習内容は他の文系と同じです。



石膏木炭デッサン



静物水彩

授業以外での制作



日本画講習会



裸婦デッサン講習会



地域プロジェクト・顔出しパネル制作



総社南地区「お買い物ガイド」制作

在校生の声



自分自身と向き合い、のびのびと活動！

美術工芸系ではゆかいな仲間や先生方、社会で活躍されている方など様々な人と出会う機会があります。実技だけではなく、あらゆる視点から見たら、考えたりすることの大切さをそこから学びました。大学受験では、志望校の試験が企画のプレゼンテーションだったため、どんな質問が来ても切り返せるように深くコンセプトを練り、細部までこだわることに力を注ぎました。また、人前で話すことに対する苦手意識を克服するために、3年生の文化祭ではコントに挑戦しました。突飛に思えますが、このことが自信につながり、入試本番では堂々と話すことができました。自分自身と向き合い、のびのびと活動させてくれた美工系には感謝しかありません。

36期生 加藤 万結 (武蔵野美術大学造形学部基礎デザイン学科 合格)

仲間たちと切磋琢磨する充実した3年間

私は美術系の大学に進学したかったので、普通科であり美術も一緒に学ぶことができる美術工芸系に特別入試で入学しました。美工系では、実際に地域の方と関わり活動する機会が多いので、学校の授業にプラスして、より実践的な学びを得ることができました。また、個性豊かな仲間たちと切磋琢磨しながら美術に向き合うので、毎日が楽しく、充実した3年間になりました。大学受験では、一枚一枚のデッサンに学びを得ること、一枚でも多く描くことを心掛けて取り組んだ結果、無事志望校に合格することができました。大学では様々なことに挑戦し、デザインについてより深く学んでいきたいです。

36期生 大塚 稟凜 (岡山県立大学デザイン学部工芸工業デザイン学科 合格)



Q&A

美工に入ったら必ず美術部に入るのですか？

はい、全員美術部に所属します。中には兼部をする生徒もいますが、放課後の制作時間を大切にしたいので、兼部は積極的にはおすすめしません。特に活動の多い部活動(運動部全般・吹奏楽部・ダンス部など)との兼部は大変で、より多くの努力が必要です。

特別入試に備えてどのような道具をそろえればいいですか？

鉛筆を数種類そろえてください。特にHB～4Bは必ず(できれば最低でも2本ずつ)、それ以外の濃さの鉛筆もできるだけそろえておく、色の幅を出せます。よく使う鉛筆は数本あると、途中で鉛筆を削る時間を省けます。それ以外には、消し具として普通のプラスチック消しゴム、さらにあると便利なのがデッサン用練り消しゴムです。

特別入試の実技問題はどんなものですか？

本校のホームページの、「中学生のみなさんへ」のコーナーに「入試情報」というページがあります。そこに入試の情報と過去問題が掲載されています。参考にしてください。



▲総社南高校ホームページ
www.sojam.okayama-c.ed.jp